



「認定・認証」ってなに？「国際相互承認」ってなに？

認定・認証とは



みなさんが食べものや家庭用品などの商品を選ぶ際、例えば JAS マークや JIS マークなどのマークが付いている商品を見かけたことはありませんか？

これらのマークは、商品が作られるときに JAS や JIS などの規格を満たしていることを、第三者が確認した証です。

このように商品の品質や作り方などが「規格」に合致しているかどうかを第三者機関が確認し証明することを「**認証**」といい、それらの第三者機関のことを「**認証機関**」といいます。

さらに、**認証機関**が適切に認証を行う能力があることを、別の第三者の立場から客観的に確認し**認定**する機関のことを「**認定機関**」といいます。このように、客観的な確認を重ねることで、信頼を支える仕組みになっています。

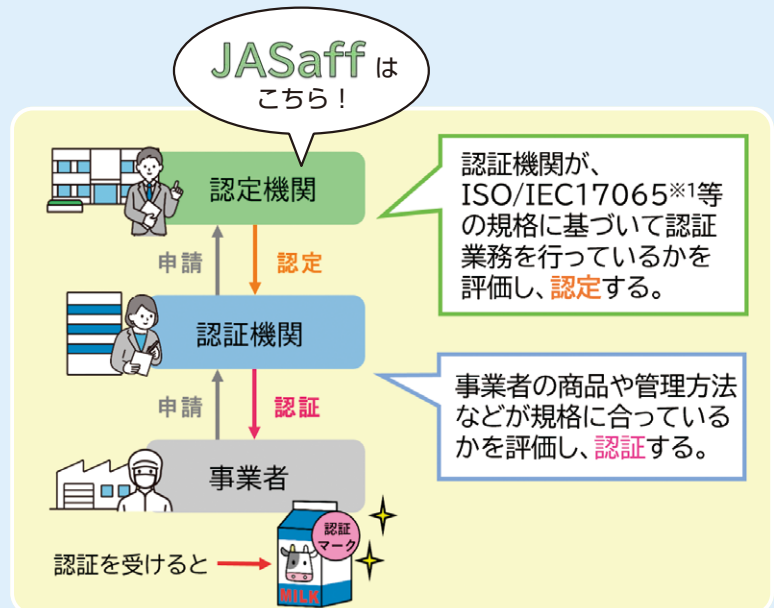


図1 認定・認証の一般的な仕組み

※1 ISO/IEC17065
製品、プロセス及びサービスの認証を行う
機関向けの国際規格

国際相互承認とは



「規格」には JAS や JIS 以外にも、ISO のような国際規格、民間規格などさまざまな種類があり、各国の認証機関は、それらの「規格」に基づいて認証を実施しています。

その際、認証を行う能力が各国の認証機関の間で異なると、ある国の認証結果を他の国で受け入れることができず、再度認証を取得する労力や時間、コストがかかる可能性があります。そのため、各国の認証機関の間で、認証のレベルが同等であることを確保する仕組みが必要となります。

認証機関を認定する各国の認定機関が、互いに「同等に信頼できる認定を行う能力を持つ」ことを確認し合う仕組みを「**国際相互承認**」といいます。

アジア太平洋地域では APAC（アジア太平洋認定協力機構）という組織で国際相互承認が行われています。

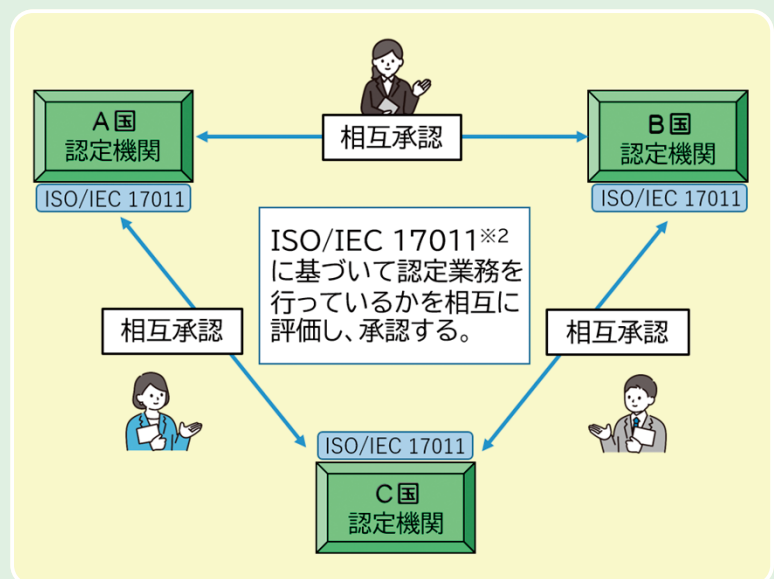


図2 国際相互承認の仕組み

※2 ISO/IEC17011
認定を行う機関に関する国際規格